



議会だより

# でいすかす

86号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2017.5.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます



## 一般質問 議員12名が市政を問う

### 平成29年第1回定例会

【答】平成27年度から事務の工夫を図り、支給時期の前倒しに努めている。平成29年度は小学校が4月28日ころ、中学校は昨年度よりさらに1週間程度早め、4月20日ころに支給できるよう努力する。また、国の要保護児童生徒援助費補助金の単価改定に伴い、増額や認定世帯の拡充を図る。

【質】小中学校入学時のランドセルや制服、指定学用品などの購入には多額の費用がかかるため、保護者には経済的な負担となっている。就学援助制度のうち新小学1年生と新中学1年生に支給される「新入学準備金」の支給時期を早める考えは。

【質】調査」をさらに実効性あるものにするために、登別市独自の調査を行うことで、子育て支援に役立つ施策づくりができるようになる」と提案しました。



質問に先立ち、北海道が行った「子どもの貧困に関する全道実態

子どもの健やかな成長のために  
渡辺 勉

【答】消防本庁舎の老朽化や将来の人口減少を見据え、幌別・鷲別の両地区を一体的に検討する必要がある。施設の規模や車両職員の適正な配置、地震・津波などの自然災害を視野に入れ、建設などを検討する。指令台の更新が必要となる平成37年度を一つの目安に進めたい。

【質】老朽化した各施設の適正配置と効率的な出動体制確立の考えは。

【質】現在、登別温泉支署と登別支署を統合した支署の建設を優先的に進めている。消防本庁舎の計画は、平成29年度から防災センター機能を備えた規模や建設地について調査研究を行う。



消防・救急救助体制には市民の期待も高く、市民の安全安心を守る

登別市消防体制に  
CSN  
千田 文孝

【質】「コミュニティ・スクール」、確かな学力の向上」、「教職員の指導力の向上」、「小中一貫の取り組み」などについては、どのような考えを持ち取り組んでいるのか。

【答】確かな学力の向上については、ここ2年間の全国学力・学習状況調査で、小中学校の国語の一部を除き、全道・全国平均を下回っていることから、教育課程課題検討委員会において指導方法の工夫・改善の取り組みを促す。さらに、児童生徒の実態に即した登別版チャレンジドリルの提供や、学習ボランティアの協力を得て実施している放課後学習教室などの取り組みを通して、学力向上の対策を引き続き支援していく。



本市の小中学校の教育の現状や課題、対策について質問しました。

教育行政執行方針について  
村井 寿行